



2021年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

2020年11月11日

上場会社名 ライフネット生命保険株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7157 URL <https://www.lifenet-seimei.co.jp/>
 代表者（役職名）代表取締役社長（氏名）森亮介
 問合せ先責任者（役職名）執行役員（氏名）近藤良祐 TEL 03-5216-7900
 四半期報告書提出予定日 2020年11月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2021年3月期第2四半期（中間期）の業績（2020年4月1日～2020年9月30日）

（1）経営成績

（％表示は、対前年中間期増減率）

	経常収益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期中間期	9,849	23.8	△1,128	—	△1,138	—
2020年3月期中間期	7,953	30.4	△1,214	—	△1,223	—

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期中間期	△20.69	—
2020年3月期中間期	△23.91	—

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期中間期	52,270	17,533	33.5	289.35
2020年3月期	41,144	9,400	22.8	183.03

（参考）自己資本 2021年3月期中間期 17,533百万円 2020年3月期 9,400百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年3月期の業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

（％表示は対前期増減率）

	経常収益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	20,000	18.7	△3,200	—	△3,200	—

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(2) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期中間期	60,595,136株	2020年3月期	51,360,238株
② 期末自己株式数	2021年3月期中間期	127株	2020年3月期	一株
③ 期中平均株式数（中間期）	2021年3月期中間期	55,046,330株	2020年3月期中間期	51,166,211株

※ 中間決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

また、2020年11月11日（水）午後5時に機関投資家、アナリスト向けに決算説明会を開催する予定です。決算説明会における説明内容は、終了後、当社株主・投資家情報ウェブサイト（<https://ir.lifenet-seimei.co.jp/ja/>）に掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績	2
(2) 財政状態	3
(3) 業績予想	3
2. 中間財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間貸借対照表	4
(2) 中間損益計算書	5
(3) 中間株主資本等変動計算書	6
(4) 中間キャッシュ・フロー計算書	8
(5) 中間財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績

契約の状況

当第2四半期会計期間の新契約の年換算保険料*1は、前年同期比124.9%の991百万円、新契約件数は、前年同期比124.3%の23,369件となりました。また、当第2四半期累計期間の新契約の年換算保険料は、前年同期比133.5%の2,158百万円、新契約件数は、前年同期比135.9%の51,505件となりました。なお、新型コロナウイルス感染症の影響については、当第2四半期累計期間において、当該感染症拡大の影響を受け生命保険ニーズが高まったことなどにより、新契約業績は一時大きく増加しました。

当第2四半期会計期間末の保有契約の年換算保険料は、前事業年度末比111.1%の17,234百万円、保有契約件数は、2020年9月に40万件を突破し、前事業年度末比111.0%の405,403件となりました。また、当第2四半期累計期間の解約失効率*2は、5.5%（前年同期7.3%）となりました。

*1.年換算保険料とは、1回当たりの保険料について保険料の支払い方法に応じた係数を乗じ、1年当たりの保険料に換算した金額をいいます。当社商品の保険料は全て月払いのみとなっているため、1ヶ月当たりの保険料に12を乗じたものを年換算保険料としています。

*2.解約失効率は、解約・失効の件数を月々の保有契約件数の平均で除した比率を年換算した数値です。

収支の状況

当第2四半期累計期間の保険料等収入は、保有契約の増加及び修正共同保険式再保険における再保険収入の増加に伴い、前年同期比122.4%の9,493百万円と増加しました。また、資産運用収益は、前年同期比136.1%の237百万円となりました。その他経常収益は、119百万円となりました。この結果、当第2四半期累計期間の経常収益は、前年同期比123.8%の9,849百万円となりました。

保険金等支払金は、修正共同保険式再保険における再保険料の増加に伴い、前年同期比152.5%の2,574百万円となりました。保険金及び給付金支払額の保険料に対する割合は、前年同期の19.2%から17.5%と減少しました。責任準備金等繰入額は、前年同期比129.6%の3,029百万円となりました。責任準備金繰入額の保険料に対する割合は、前年同期の33.9%から37.5%に増加しました。事業費は、広告宣伝費を中心とした営業費用の投下等により、前年同期比100.6%の4,633百万円となりました。事業費のうち、営業費用は前年同期比95.9%の3,054百万円、保険事務費用は前年同期比112.7%の478百万円、システムその他費用は前年同期比110.8%の1,100百万円となりました。その他経常費用は、主に海外募集による新株発行の株式交付費の計上及び2019年10月の消費税率引き上げによる影響から、前年同期比150.9%の741百万円となりました。これらにより、当第2四半期累計期間の経常費用は前年同期比119.7%の10,978百万円となりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の経常利益は、前年同期のマイナス1,214百万円に対して、マイナス1,128百万円となりました。中間純利益は、前年同期のマイナス1,223百万円に対して、マイナス1,138百万円となりました。

また、生命保険会社の収益性を示す指標のひとつである基礎利益は、前年同期のマイナス1,232百万円に対して、マイナス1,049百万円となりました。内訳は、危険差益1,898百万円、費差益マイナス2,938百万円、利差益マイナス9百万円となりました。

当社は、継続的な力強い新契約業績の成長を目指すために、財務健全性の維持を目的として、2019年度から新契約の一部（以下、出再契約）を対象とした修正共同保険式再保険を行っています。修正共同保険式再保険は、出再契約のリスク及び収支構造の一部を一定期間再保険会社に移転するもので、当該再保険を活用することで、新契約に係る費用の負担が、会計上の資本を急激に減少させる状況を緩和することが可能となります。具体的には、当該再保険では、新契約獲得の初年度に、出再契約に係る新契約費の一部を出再手数料として収受します。そのため、経常収益が増加します。一方、収受した出再手数料は、再保険貸に資産計上された後、一定の期間において再保険収支に基づいて段階的に償却されます。そのため、当該期間において、経常利益及び純利益は減少することとなります。再保険貸の償却が完了し、再保険契約を終了させると、その後の出再契約の利益は当社に帰属することとなります。以上により、当第2四半期累計期間においては、当該再保険により経常収益は1,153百万円増加（前年同期は852百万円増加）、経常利益及び中間純利益は360百万円増加（前年同期は743百万円増加）しています。

(2) 財政状態

資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末の総資産は、52,270百万円（前事業年度末41,144百万円）となりました。主な勘定残高として、高格付けの公社債を中心とする有価証券は、36,419百万円となりました。また、再保険貸2,026百万円のうち、修正共同保険式再保険に係る未償却出再手数料の残高は1,901百万円になりました。

負債は、責任準備金が増加したことから、34,736百万円（前事業年度末31,744百万円）となりました。主な勘定残高は、責任準備金32,719百万円、支払備金552百万円となりました。

純資産は、中間純損失を計上したものの、海外募集による新株式発行を行ったことにより17,533百万円（前事業年度末9,400百万円）となりました。なお、修正共同保険式再保険の活用により、純資産のうち利益剰余金には、未償却出再手数料の残高を増加させた効果が含まれており、資本の急激な減少を緩和しています。一方、收受した出再手数料は、再保険貸に資産計上された後、一定の期間において再保険収支に基づいて段階的に償却されます。それに応じて、当該期間において、純資産が減少することとなります。

当第2四半期会計期間末のソルベンシー・マージン比率は、2,957.1%（前事業年度末2,117.1%）となり、十分な支払余力を維持しています。

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、主に保険料収入の増加により、1,546百万円の収入（前年同期586百万円の収入）となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは、主に有価証券の取得により、5,446百万円の支出（前年同期897百万円の支出）となりました。また、財務活動によるキャッシュ・フローは、主に海外募集による新株式発行を行ったことにより、8,865百万円の収入（前年同期7百万円の支出）となりました。

以上の結果、現金及び現金同等物の当第2四半期会計期間末残高は、6,643百万円（前事業年度末1,677百万円）となりました。

(3) 業績予想

2020年度（2021年3月期）の業績予想は、以下のとおり、2020年8月11日に発表した内容から変更ありません。

(百万円)

	経常収益	経常利益	当期純利益
2020年度業績予想 (2021年3月期)	20,000	△3,200	△3,200
(参考) 2019年度実績 (2020年3月期)	16,850	△2,382	△2,400
増減率	18.7%	—	—

なお、2020年度業績予想の各数値には、2019年度に導入した修正共同保険式再保険による影響額が含まれていません。当該再保険による2020年度の業績予想への影響として、経常収益が約2,700百万円、経常利益及び当期純利益が約650百万円増加する見込みです。これには、過年度に出再した契約に係る再保険貸の償却額を含みます。

また、新契約年換算保険料^{*1}は、4,000百万円を見込んでいます。

引き続き、当社は、毎四半期における決算発表、業績速報等の実績値の開示の充実など、マニフェストに掲げている積極的な情報開示を推進することで、ステークホルダーの皆さまの当社に対する理解の促進に努めます。

*1. 年換算保険料とは、1回当たりの保険料について保険料の支払い方法に応じた係数を乗じ、1年当たりの保険料に換算した金額をいいます。当社商品の保険料は全て月払いのみとなっているため、1ヶ月当たりの保険料に12を乗じたものを年換算保険料としています。

2. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当中間会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
現金及び預貯金	1,377	2,143
買入金銭債権	299	4,499
金銭の信託	3,539	4,734
有価証券	32,058	36,419
国債	8,065	8,632
地方債	1,391	1,388
社債	18,119	20,611
株式	313	393
外国証券	0	0
その他の証券	4,167	5,394
有形固定資産	96	92
無形固定資産	742	873
代理店貸	9	7
再保険貸	1,663	2,026
その他資産	1,356	1,472
未収金	1,132	1,244
その他の資産	224	228
資産の部合計	41,144	52,270
負債の部		
保険契約準備金	30,328	33,272
支払備金	638	552
責任準備金	29,690	32,719
代理店借	55	63
再保険借	225	251
その他負債	882	802
未払法人税等	3	1
未払費用	775	674
リース債務	7	5
資産除去債務	33	33
その他の負債	62	86
特別法上の準備金	56	64
価格変動準備金	56	64
繰延税金負債	195	282
負債の部合計	31,744	34,736
純資産の部		
資本金	12,200	16,723
資本剰余金	12,200	16,723
資本準備金	12,200	16,723
利益剰余金	△15,502	△16,641
その他利益剰余金	△15,502	△16,641
繰越利益剰余金	△15,502	△16,641
自己株式	—	△0
株主資本合計	8,898	16,806
その他有価証券評価差額金	502	727
評価・換算差額等合計	502	727
純資産の部合計	9,400	17,533
負債及び純資産の部合計	41,144	52,270

(2) 中間損益計算書

(単位：百万円)

	前中間会計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当中間会計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
経常収益	7,953	9,849
保険料等収入	7,754	9,493
保険料	6,697	8,079
再保険収入	1,056	1,414
資産運用収益	174	237
利息及び配当金等収入	152	140
金銭の信託運用益	16	93
有価証券売却益	5	2
その他経常収益	24	119
支払備金戻入額	—	85
その他の経常収益	24	33
経常費用	9,167	10,978
保険金等支払金	1,688	2,574
保険金	832	879
給付金	455	537
その他返戻金	0	0
再保険料	400	1,157
責任準備金等繰入額	2,337	3,029
支払備金繰入額	65	—
責任準備金繰入額	2,271	3,029
資産運用費用	46	0
支払利息	0	0
有価証券評価損	46	—
為替差損	0	0
事業費	4,604	4,633
その他経常費用	491	741
経常損失(△)	△1,214	△1,128
特別損失	6	8
特別法上の準備金繰入額	6	8
価格変動準備金繰入額	6	8
税引前中間純損失(△)	△1,221	△1,136
法人税及び住民税	1	1
法人税等合計	1	1
中間純損失(△)	△1,223	△1,138

(3) 中間株主資本等変動計算書

前中間会計期間（自2019年4月1日 至2019年9月30日）

（単位：百万円）

	株主資本					株主資本合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		
		資本準備金	資本剰余金合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計	
当期首残高	12,136	12,136	12,136	△13,101	△13,101	11,172
当中間期変動額						
新株の発行（譲渡制限付株式報酬）	20	20	20			41
中間純損失（△）				△1,223	△1,223	△1,223
株主資本以外の項目の当中間期変動額（純額）						
当中間期変動額合計	20	20	20	△1,223	△1,223	△1,181
当中間期末残高	12,157	12,157	12,157	△14,324	△14,324	9,990

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	評価・換算差額 等合計	
当期首残高	600	600	11,773
当中間期変動額			
新株の発行（譲渡制限付株式報酬）			41
中間純損失（△）			△1,223
株主資本以外の項目の当中間期変動額（純額）	176	176	176
当中間期変動額合計	176	176	△1,004
当中間期末残高	777	777	10,768

当中間会計期間（自2020年4月1日 至2020年9月30日）

（単位：百万円）

	株主資本						株主資本合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		自己株式	
		資本準備金	資本剰余金合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計		
当期首残高	12,200	12,200	12,200	△15,502	△15,502	—	8,898
当中間期変動額							
新株の発行	4,502	4,502	4,502				9,005
新株の発行（譲渡制限付株式報酬）	20	20	20				41
中間純損失（△）				△1,138	△1,138		△1,138
自己株式の取得						△0	△0
株主資本以外の項目の当中間期変動額（純額）							
当中間期変動額合計	4,523	4,523	4,523	△1,138	△1,138	△0	7,908
当中間期末残高	16,723	16,723	16,723	△16,641	△16,641	△0	16,806

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	評価・換算差額 等合計	
当期首残高	502	502	9,400
当中間期変動額			
新株の発行			9,005
新株の発行（譲渡制限付株式報酬）			41
中間純損失（△）			△1,138
自己株式の取得			△0
株主資本以外の項目の当中間期変動額（純額）	224	224	224
当中間期変動額合計	224	224	8,133
当中間期末残高	727	727	17,533

(4) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前中間会計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当中間会計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間純損失 (△)	△1,221	△1,136
減価償却費	143	154
支払備金の増減額 (△は減少)	65	△85
責任準備金の増減額 (△は減少)	2,271	3,029
価格変動準備金の増減額 (△は減少)	6	8
利息及び配当金等収入	△152	△140
有価証券関係損益 (△は益)	41	△2
支払利息	0	0
株式交付費	—	137
代理店貸の増減額 (△は増加)	△1	1
再保険貸の増減額 (△は増加)	△773	△363
その他資産 (除く投資活動関連、財務活動関連) の増減額 (△は増加)	△60	△95
代理店借の増減額 (△は減少)	△24	8
再保険借の増減額 (△は減少)	30	25
その他負債 (除く投資活動関連、財務活動関連) の増減額 (△は減少)	65	△98
その他	△4	△73
小計	386	1,369
利息及び配当金等の受取額	192	172
利息の支払額	△0	△0
法人税等の還付額	7	4
営業活動によるキャッシュ・フロー	586	1,546
投資活動によるキャッシュ・フロー		
金銭の信託の増加による支出	△250	△1,000
有価証券の取得による支出	△1,831	△5,297
有価証券の売却・償還による収入	1,407	1,110
資産運用活動計	△674	△5,186
営業活動及び資産運用活動計	△87	△3,640
有形固定資産の取得による支出	△34	△23
無形固定資産の取得による支出	△188	△236
投資活動によるキャッシュ・フロー	△897	△5,446
財務活動によるキャッシュ・フロー		
株式の発行による収入	—	8,868
自己株式の取得による支出	—	△0
リース債務の返済による支出	△7	△2
財務活動によるキャッシュ・フロー	△7	8,865
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△317	4,965
現金及び現金同等物の期首残高	2,192	1,677
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,874	6,643

(5) 中間財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2020年7月3日開催の取締役会において、海外市場における募集による新株式発行及び株式売出しを行うことを決議し、2020年7月20日に払込が完了いたしました。この結果、当中間会計期間において資本金が4,502百万円、資本準備金が4,502百万円増加し、当中間会計期間末において資本金が16,723百万円、資本準備金が16,723百万円となっております。